



▲ジャガイモを山盛りに詰める参加者

山盛りのジャガイモに大興奮

ジャガジャガ祭

5月4日、天草町大江のお万ヶ池を主会場に「第15回ジャガジャガ祭」が開催され、市内外から約4,500人が来場しました。同祭実行委員会が毎年開催しているもので、メインのジャガイモ掘り取り体験には約600人が参加。バケツが山盛りになるまでジャガイモを詰めていました。

また、グラウンドゴルフやいかだレースが行われたほか、バザーコーナーではとれたてのジャガイモを使ったコロッケ1,900個が売り切れるなど大盛況でした。



▶いかだレースのようす

すばらしい力作を披露!

伝統工芸製作体験講座の作品展

天草文化交流館の伝統工芸製作体験講座の作品展が5月17日から同25日まで、同館で開かれました。会場では、平成25年度に同講座を受講した人等139人による、手まりや押し絵、土人形、パラモン^だ、陶芸、竹細工などの作品413点を一堂に展示。来場者は、受講生が作った力作を見て、「とてもすばらしいですね」と話していました。



▲作品を鑑賞する来場者

いっぱい収穫したよ

浅海ばんかん祭

4月27日、「第4回^{あさみ}浅海ばんかん祭」が深海町の旧浅海小学校で開催されました。浅海地区のみかん生産者でつくる「浅海晩柑の会^{ばんかん}」が、地域の活性化を目的に開催したものです。

同地区産の晩柑の収穫体験やみかんの重量当てなどが行われ、収穫体験に参加した子どもたちは、「大きくて収穫しがいがありました」と笑顔で話していました。



▲晩柑の収穫体験をする子ども

大きく育ててね!

アユの稚魚の放流

新和町大宮地地区に住む子どもとその保護者など30人が4月20日、地元を流れる大宮地川にアユの稚魚1,500匹を放流しました。同地区振興会が、同川の環境に関心を持ってもらおうと、くまもと里海づくり協会から稚魚の提供を受けて実施したものです。参加者は、同地区振興会役員からアユの生態について説明を受けた後、バケツに入った体長7cmの稚魚をていねいに川に流し入れていました。放流された稚魚は、順調に育つと夏から秋にかけて体長20cmの成魚になるとのことです。



▲大宮地川にアユの稚魚を放流するようす

ずらりと並んだ陶磁器を楽しむ

天草西海岸陶器市「春の窯元めぐり」

4月27日から5月6日まで、天草町と苓北町にある9の窯元などで「天草西海岸陶器市「春の窯元めぐり」」が開催されました。

各窯元には、特産の天草陶石で作られた白磁のほか、土の色合いをいかした焼き物などが並び、来場者の目を引き付けていました。期間中は通常より安く購入できるとあって、訪れた人は商品を手にとって真剣な表情で選んでいました。



▲陶磁器を手にとって見る参加者

身近にある文化財を知ろう

天草市文化財探訪を発行

市ではこのほど、市内の文化財を紹介する「天草市文化財探訪」を発行しました。市民の皆さんに、文化財が身近にあることを知ってもらおうと発行したものです。国指定重要文化財の祇園橋(船之尾町)や国史跡の棚底城跡(倉岳町)など、203点の由来や見どころを紹介しています。各支所に設置しているほか、希望者には配布していますので、皆さんぜひご覧ください。詳細は、本庁(別館)・文化課☎231111へ。



▲発行した「天草市文化財探訪」